

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4076200296
法人名	医療法人 雅紀会
事業所名	グループホーム さくら A棟
所在地	福岡県飯塚市秋松709番地11
自己評価作成日	令和元年7月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>受容と共感を念頭に置き、尊厳を守りつつ穏やかな日常支援の中で寄り添う介護を目指しています。</p>
--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kai gokensaku.jp/40/index.php
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>開設して17年目を迎える歴史ある事業所である。幹線道路から少し入った穂波川沿いに広い敷地を有し、隣接して関連施設が位置していることから、災害対策等にて連携を図ることが可能である。広い中庭では気軽な外気浴が可能であり、時にはテントを張り、食事会も開催される。常勤を基本とする職員体制の中で、外部研修参加機会の確保や有給休暇の取得率も高く、働きやすい職場環境づくりに取り組み、職員体制の安定に結び付けている。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 福祉評価センター		
所在地	福岡県北九州市戸畑区境川一丁目7番6号		
訪問調査日	令和元年7月18日	評価結果確定日	令和元年10月9日

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果					
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝唱和する事や朝礼・終礼・ミーティング等を活用し意見交換を行い、実践し結果を報告し合ったり、共有を図っている。	「理念と方針」として、束縛の無い家庭的な暮らしや持てる力の活用、個人の生活史と固有の感情、社会人としての行動、役割の回復等が掲げられている。また、「さくらの標語」を掲げ、日々の唱和を通じて、共有を図っている。	「理念と方針」として、5項目の事業所としての方向性が明確に示されており、現状を振り返る機会を持ちながら、共有や実践に結び付ける取り組みが期待されます。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	実習の学生・ボランティアの受け入れを行っている。	地域の小中学校及び高校教員の研修場所としての協力や、実習生・ボランティアの受け入れ等を通じて、地域とのかかわりを持っている。また、災害時の連絡体制や家族にボランティアの方を紹介して頂く等、関係者との情報共有や連携を事業運営に活かせるよう取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実習生・就業・職場体験ボランティアの受け入れや見学等にて入居者への理解を深めて頂くと共に連絡協議会への参加・活動を継続している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議にて意見を頂き、サービスの向上に繋げている。	利用者や家族、福祉委員、地域包括支援センター担当者等の出席を得て、運営推進会議を定期開催している。利用者より意見が出される機会もあり、地域情報の共有やホームの状況報告をもとに意見交換が行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加及び、判断に困る様な事項については、意見を求めたりする等協力関係を築いている。	運営推進会議には、地域包括支援センター担当者の出席を得ている。毎月、相談員を受け入れている。不明な点の問い合わせやケースワーカーの方との情報共有、連絡協議会の意見交換会等を通じて、市町村との連携に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	昨年度からの身体拘束適正化検討委員会を踏まえ、身体拘束をしないケアへの取り組みを行っている。	身体拘束適正化の為の指針を定め、検討委員会開催や研修実施を行っている。日中、玄関の施錠は行われておらず、中庭での気軽な日光浴も可能である。また、ユニット間の自由な行き来も可能である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会を通じて逆谷についての理解を深めると共に、各々が意識して虐待防止に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を利用されている方も居られる為、研修会等で理解を深めている。	高齢者虐待防止に関する研修の中で、権利擁護制度について学ぶ機会を確保している。現在、制度を活用している方もおり、資料を整備し、必要時には活用に向けた支援が行えるよう取り組んでいる。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居申し込み時の説明及び利用契約書のサイン時又、追加・変更がある場合もその都度十分に説明を行い、理解・納得を得ている。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時の説明や苦情箱の設置・家族会での意見交換や介護相談員からの助言を傾聴し、改善に取り組んでいる。	年2回、行事の後に家族会を開催している。また、介護相談員の受け入れを行っている。運営推進会議の中で、入居者の方より意見が出ることもあり、運営への反映に努めている。	
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	サービス担当者会議やミーティング等で入居者の決定や意見・要望を提案し、運営に反映している。	月に1回、開催されるミーティングや日常の業務の中で、備品の購入や浴室の環境整備等の意見が出され、実際に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	適宜、ミーティング・朝礼・終礼等の意見や要望を報告し、職場環境の改善や研修等の励行にて職員のスキルアップに繋げている。		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	男女各年代の方々が勤務されており、採用に関しての制限はなし。各々の能力を発揮出来る様に配慮されている。	全職員が常勤として採用されており、職員体制は安定している。有給休暇の取得率も高く、ワークライフバランスに配慮されている。外部研修への参加機会も多く、資格取得に向けたサポートも含め、個々のスキルアップを奨励している。	
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	継続し、人権に関する研修会の開催にて人権教育・啓発活動に取り組んでいる。	人権・権利擁護や高齢者虐待防止、同和問題、認知症ケア等の内外の研修機会を確保し、人権教育、啓発に努めている。また、職員のメンタルヘルスについても配慮に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各々の能力に応じた指導を行うと共に、内部・外部研修への積極的な参加を促し、職員のスキルアップに努めている。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型連絡協議会への継続入会。関連系列との勉強会への参加。各々の活動を通じての意見や要望を報告し、意見交換を持ち帰り、サービスの向上に繋げている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人・家族の訴えを傾聴し、話し合いを行いながら、信頼関係の形成に繋げている。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	訴え易い環境を提供すると共に、訴えを傾聴する事で真意を汲み取り、信頼関係の形成に繋げている。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス担当者会議等で意見交換を行い、必要なサービスを見極め、提案・納得を得たサービスの提供に努めている。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々人の状態や状況にもよるが、入居者の方々に教えて頂く事もある。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会やさくら便りにて毎月の行事への参加・見学を促している。		
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	状況や状態に応じて家族へ外出や外泊をお願いしている。	かかりつけ医の継続受診や馴染みの理・美容院の利用、市内の商店街の利用等、家族との連携も活かしながら、馴染みの関係継続に向けた支援に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	様々な場面で、個々人の状態や状況に合 わせた組み合わせを行ったり、職員が橋渡 しを行ったりしながら、他者との関りが多く持 てる様に支援に努めている。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先への見舞い・状況に応じて身の回り の世話や退院時の調整等の支援に努めて いる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	個々人の意向に添える様に話し合いを行っ ていくが、困難な場合には繰り返し説明を行 い理解と協力を得ている。	常勤採用を基本とすることから、安定した職員体 制の中で、個人の理解と職員間での共有に努め ている。日々の会話や行動、表情等から推し測 り、思いや意向の把握に努めている。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	入居前の相談時から本人の意向を家族・ケ アマネ等からの情報等にて把握を行うが、 入居後も継続し、状態把握を行っている。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	個々人の生活習慣やバイタルチェック・状態 観察にて把握に努めている。		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	本人・家族の意向や必要時主治医の参加 を求め、意見を伺いプランに反映している。	定期的なミーティング及びモニタリング・評価等 を通じて、現状の確認と見直しの必要性の検討 に努めている。	生活歴や馴染みの暮らし方等、個別 の認知症ケアに基づく情報を収集・共 有することで、本人本位の介護計画 作成や日々の実践に結び付けてい くことが期待されます。
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個別カルテに記入すると共に重要事項につ いては申し送り簿にて情報の共有及び修 正・計画・立案・実践に活かしている。看護 カルテも同様とする。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の意向は話し合いやサービス担当者会議等にて検討し、柔軟な対応に努めている。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ショッピングや理美容院の利用・介護相談員・主治医等の助言を受けて安全で豊かな入居生活が提供出来る様に支援に努めている。		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後もかかりつけ医への受診を継続しており必要時変更をお願いしたり、近医を紹介して頂く等良好な関係が継続出来ている。	入居以前からのかかりつけ医との関係性を築きながら、希望や状況に応じた受診支援を行っている。看護師の配置及び看護計画・看護記録が整備され、関係者間の情報共有に努めている。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護記録を活用し、介護・看護が連携を図り異常の早期発見・早期受診に繋げている。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な見舞いや家族・担当医・SWとの連携を図り、情報の共有・関係作りに努めている。		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明を行うと共に、状況・状態に合わせて本人・家族の意向を主治医と相談し、方針を皆で共有。変更があればその都度修正を行っている。	入居時に、指針を基にした事業所としての方針を説明し、意向を確認している。事前確認書も作成され、定期及び状況の変化に応じた再確認が行われている。看取りの支援も行われており、家族が付き添う場面もあった。	
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル・内部研修等を通じて実践に対応できるように訓練を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の実施。近隣施設との協力体制を図っている。	隣接する関連施設との連携も図りながら、入居者全員が参加する避難訓練を実施している。各種災害に対応するためのマニュアルの見直しにも取り組み、運営推進会議の中での意見交換も行われている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マニュアルや研修により、プライバシー保護や対応について周知徹底を図っている。	接遇や法令規定、プライバシー保護、認知症ケア等の研修を通じて、個人の尊重や対応について意識を高めている。起床や朝食の時間等にも柔軟に対応しながら、個別の生活リズムへの配慮に努めている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを図り、本人の意向を尋ねながら、自己決定に繋げている。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日程はあるが、本人の状況や状態に合わせた支援に努めている。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行きつけの理美容院の継続利用・そっぴングへの参加にて必要な物品の購入が出来る様に支援を行っている。		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立や食事形態に本人・家族の意向を取り入れたり、下準備や後片付けを一緒に行う事もある。	献立は管理栄養士により作成され、炊飯や汁物の調理を事業所にて行っている。厨房には日常の中で把握された嗜好等を伝えている。時には中庭にテントを張り食事会を開催したり、たこ焼きパーティ等も開催されている。	
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立を作成。チェック表を用いて摂取量を把握。必要時は経口補助食品も使用している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	昨年より、月1回の口腔指導を受けている。必要時は往診にて対応。又、毎食後の口腔ケアは個々人の状況・状態に合わせて声掛けや介助し、義歯の洗浄や管理も行っている。		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握する事でスムーズな排泄介助に繋げている。	入居者全員の排泄チェック表を作成し、個別の状況やパターンの把握に努めている。日中は出来る限りトイレでの排泄を支援し、夜間は個別の状況に配慮している。各居室にトイレが設置されている。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表の活用にて排便状態を把握し、適度な運動や腹部マッサージを取り入れ排便コントロールに繋げていく。必要時主治医から内服薬の指示を仰いでいる。		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	バイタル測定後状況に応じて入浴を勧めている。	ほぼ毎日入浴を準備し、1週間に2～3回程度は入浴できるよう、個別の希望や状態等に応じて、声掛けやタイミングを工夫している。必要に応じて職員2名での介助やシャワー浴を含めた対応を行っている。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも状態・状況に応じて適宜休息を促し身体の安静に繋げている。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々人のカルテに記入及び処方箋の添付にて職員が情報を共有・変更がある場合は申し送り簿で記載・報告を行う。副作用についても各々理解が出来ている。		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々人の好きな事や得意な事を把握し、余暇の時間に取り入れ役割や楽しみへと変換出来るように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やショッピング等への声掛けや状態に応じて家族へ外出や外泊への協力をお願いしている。	受診の際の行き来の場面を活用した外出機会の確保や、広い中庭での食事会開催、外出行事として、毎月のように花見等を企画・実行している。敷地内の平坦な中庭では、気軽な外気浴が可能である。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人・家族の意向を踏まえ、買い物や受診の際に個人に合った支援や買い物代行も行っている。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される場合は、家族の許可を得て取次ぎを支援している。		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井は高く、広さも大きい大きなソファと和室の空間もあって台所では料理の匂いがしている。大きな窓からは光が差し込んで明るい作りになっている。	中庭に面した共用空間は天井も高く、掃き出しの窓開口部も大きくとられ、開放的である。食卓やソファ等、その時々に応じたくつろぎの場所が確保されている。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広くテーブルも用意され、和室のスペースもあり、中庭もある。		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた寝具や食器等を持ち込まれ、居室も思い思いに飾られている。	トイレが設置されている各居室には、テレビやテーブルセット等が持ち込まれており、配置や動線の確保にも配慮されている。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共同の場所へは掲示物を掲げ、ホール内はカーペット、廊下にはクッション性のフローリングを使用。廊下・トイレに手すりを設置。		